



2013年9月30日

## すべての人々に公共サービスとディーセントワークを 2013年10月7日 ディーセントワーク世界行動デー

10月7日はディーセントワーク世界行動デーです。この日を記念して、国際公務労連(PSI)は国際労働組合運動と共に、すべての人々にディーセントワークを実現すること、ならびに世界で続く労働組合権侵害の根絶を訴えます。そして人間らしい賃金と社会保障、安全な労働条件が確保された労働を求めていきます。

公共サービスはディーセントワークの提供を約束します。質の高いサービスは、権利が全面的に尊重された労働者によってしか提供することができません。この点において、国際公務労連は地位や身分を問わず世界全体の労働者ひとりひとりの基本的権利と労働条件を擁護し、改善に努めています。公共サービス組合は世界中で攻撃の的となっています。グアテマラからボツワナ、韓国まで、多くの国で政府が労働組合権を否定し、組合員を差別することを通じて、万人に質の高い公共サービスを確保しようという労働者の声を奪おうとしています。

2013年夏、潘基文国連事務総長は、国連組合から交渉権を一方的に奪い、職員管理委員会を一時停止する決断を下しました。これでは「組合は不適切である」との受け入れがたいメッセージが世界に向けて発信されることとなります。特に平和。社会正義に献身し、1948年の世界人権宣言(第23条4項)および結社の自由と団体交渉に関する中核的ILO条約を掲げる世界組織がそのような姿勢であるのは非常に偽善的であると言えます。

よって私たちは潘基文国連事務総長に対し、国連職員の団体交渉権を直ちに全面回復することを求めています。国連は使用者として世界の模範となるべきです。

多くの公共サービス労働者にとって、不安定な雇用は辛い現実であり、女性、若者、移民労働者の差別を助長します。私たちは、若年労働者にディーセントワークを確保することを求め、低賃金契約に基づくミニジョブでもパートでもない真の雇用を求めます。私たちは現代版奴隷制度や差別の蔓延がない公正な世界を求めます。さらに私たちは、移住は唯一の選択肢ではなく、選択肢の一つであるべきだと考えます。

私たちは、社会保護のメカニズムを解体し、雇用を崩壊させる政策ではなく、雇用の成長と雇用機会の創出に与する経済・金融政策と税制を求めます。そして地域社会を支え、教育と保健サービスをすべての人に提供するためのディーセントワークと質の高い公共サービスを求めます。基本的サービスを提供する公共サービスを退職した労働者の補充率は低く、一部の国では社会的義務の放棄にまで発展しています。

私たちは緊縮財政と公共サービスの民営化に反対します。多くの改革は、サービスに関する新たな貿易協定(TiSA)などを通じて、秘密裏に実施されます。TiSAは交渉が密室で行われ議会の監視なしに実施されるため、公共サービスに莫大な影響を与え、公益と民主主義における規制を否定する性格のものです。私たちの世界は売り物ではありません。

PSIはより多くの労働者を組織するというコミットメントのもと、国際労働組合総連合を支持します。労働組合の団結と国際連帯は、グローバル化された今日の経済において、最も強力な武器になります。私たちはすべてのPSI加盟組合に、10月7日のディーセントワーク世界行動デーを記念してイベントの開催、または他の組合のイニシアチブへの参加を呼びかけます。イベントの予定を早急にご連絡ください(宛先:[rights@world-psi.org](mailto:rights@world-psi.org))。

国際公務労連は、世界150か国で重要な公共サービスに携わる女性と男性2千万人以上を代表する世界的労働組合連盟です。PSIは人権を擁護し、社会正義を唱道し、質の高い公共サービスの普遍的な利用を推進します。PSIは国連体制のもと、労働界、市民社会、その他組織と協力して取り組みます。